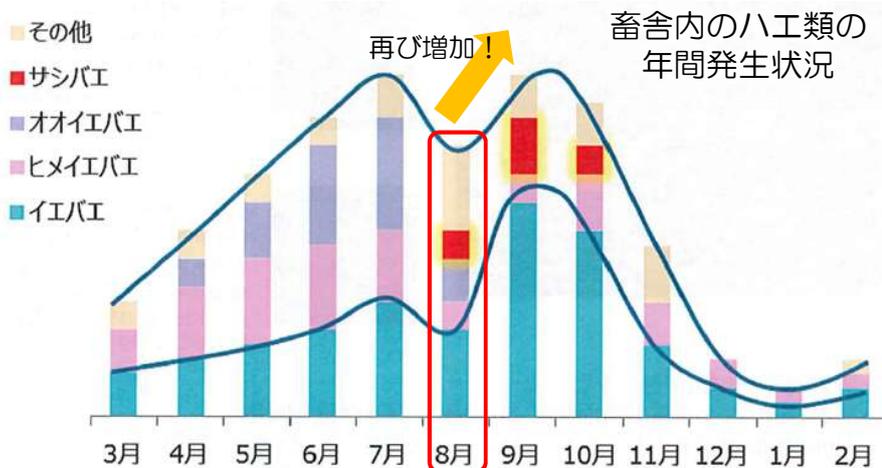


畜舎のハエ対策を実施しましょう！

ハエは、家畜にとってストレスになるだけでなく、牛伝染性リンパ腫ウイルスなどの病原体を媒介するリスクもあります。8月はいったん数は減りますが、秋にかけて再び増加していくため、ハエが増える前に対策を実施し、快適で衛生的な畜舎環境を整えましょう。



※ 栃木県畜産試験場「ハエ防除マニュアル」より

サシバエとイエバエの違い

＜サシバエ＞

- 動物の血液を食べる
 →牛伝染性リンパ腫ウイルス等を媒介する
- 主に夏～秋に発生する

＜イエバエ＞

- 腐敗物、死骸、糞を食べる
- 年中発生がみられる

＜対策＞



①発生源対策

- ✓ 早めの除糞・清掃
- ✓ 堆肥の定期的かつ確実な切り返し
 (温度40℃以上、水分50%以下で幼虫のふ化率が激減します)

②幼虫(ウジ)対策

- ✓ ウジ用殺虫剤の使用 ※薬剤を使用する場合は使用方法をしっかりと確認し、家畜へ直接噴霧しないよう注意しましょう

③成虫対策

- ✓ 防虫ネットや粘着シートの設置
- ✓ 殺虫剤の使用

栃木県で豚熱の発生が確認されました

令和4年（2022年）7月23日、栃木県の農場にて豚熱の発生が確認されました。殺処分頭数は約54,000頭と、**過去最大規模**となります。

農場にウイルスを持ち込まないためにも、普段から飼養衛生管理を徹底するとともに、豚に異状がみられた際の早期通報をお願いします。

衛生管理を徹底しましょう!



関係者以外の農場への立入を禁止



農場に出入りする際には豚舎専用の長靴の使用、車両消毒を実施



飼料に生肉を含む又は含む可能性がある場合は、十分に加熱処理

農林水産省HPより

現在、国内で継続発生している豚熱は、明確な症状が現れない場合がありますので、死亡豚の増加をはじめとした異状を発見したら直ちに通報しましょう!

徳島県で「野生イノシシ」において豚熱の感染が確認されました

7月25日、徳島県徳島市で発見された死亡イノシシにおいて豚熱の感染が確認されました。既に、兵庫県、広島県や山口県で豚熱陽性の野生イノシシが確認されていましたが、**四国での確認は初めて**となります。

九州では、飼養豚や野生イノシシにおいて豚熱の感染は確認されていませんが、嚴重な警戒が必要です。今後とも、野生イノシシをはじめ、野生動物の農場内侵入防止対策の徹底と継続をお願いします。



近隣諸国における悪性伝染病発生情報

病名	型	発生地（国）	畜種	発生日月
高病原性鳥インフルエンザ（HPAI）	H5N2	台湾	家きん	令和4年7月12日
	H5N1	ロシア	家きん	令和4年7月11日
口蹄疫（FMD）	不明	タイ（14件）	不明	令和3年
アフリカ豚熱（ASF）		ロシア（3件）	豚	令和4年6月25日
		韓国（23件）	野生いのしし	令和4年7月20日

令和4年(2022年)8月1日現在



毎月20日はくまもと家畜防疫の日

定期的な消毒を実施しましょう!

